

# むろらん 市議会だより

発行責任者／室蘭市議会議長  
編集・発行／広報特別委員会

わがまち21世紀の宝

室蘭市立絵鞆小学校の円形校舎



絵鞆小学校の円形校舎は、1棟（写真右）が昭和33年に、もう1棟（写真左）が同35年に建てられ、最上階に体育館があるという、当時としては特徴的な機能と外観を持つ校舎で、長年、地域のシンボルとして親しまれてきました。

設計・建造した建築家の坂本鹿名夫氏は、円形校舎の強い構造、日当たりや風通しの良さ、建築コストの削減等の利点を世に訴え、戦後復興期の学校建築に大きな役割を果たしましたが、現在、道内で円形校舎を使用している学校は、わずか3校しかなく、希少的存在となっています。

絵鞆小学校は来年3月末で閉校予定となっていますが、校舎は歴史ある貴重な建築物であり、また絵鞆貝塚に立地していることから、議会でも今後の利活用策が論議されています。

## 平成26年第2回室蘭市議会定例会日程

- 6月 9日 本 会 議（開会、議案説明ほか）
- 6月12.13日 本 会 議（質疑・一般質問）
- 6月 16日 本 会 議（質疑・一般質問、各委員会への議案付託ほか）
- 6月 17日 常任委員会（総務）
- 6月 18日 常任委員会（民生）
- 6月 19日 常任委員会（経済建設）
- 6月 20日 特別委員会（予算審査）
- 6月 23日 特別委員会（白鳥新道・幹線道路建設促進）  
委 員 会（議会運営）
- 6月 24日 委 員 会（議会運営）  
本 会 議（各種議案の議決ほか、閉会）

## 第2回定例会開催

平成26年第2回室蘭市議会定例会が、左記日程のとおり、16日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、市長提出議案として補正予算2件、条例改正等を含む議案12件、意見書案9件について、審議・議決しました。

# 行政調査報告

各常任委員会の調査内容の一部を紹介するとともに、この調査の実施により得られた成果については、今後のまちづくりを生かすよう努めてまいります。

## 総務常任委員会

5月27日～5月30日

自主防災組織について

(富山県高岡市)

小中学校児童生徒の学力・体力向上の取り組みについて

(福井県敦賀市)

豊田市トータル人事システム

について(愛知県豊田市)

高岡市では、自主防災組織について調査しました。同市は平成20年7月の豪雨災害を受けた後に組織率が伸び、平成25年4月時点で75%の組織率となっています。

特徴的な取り組みとして、未結成の自治会に積極的に設立を促す自主防災アドバイザー事業の導入、災害の種類に応じた資機材補助金の創設、

校下(地区)連絡協議会(連合自治会)を結成し、研修や訓練を実施するなどがあり、大変参考になりました。



敦賀市では、小中学校児童生徒の学力・体力向上の取り組みについて調査しました。

同市では、未来を担う敦賀っ子を育てるために、敦賀スタンダードとして独自の教育基準を定め、「敦賀っ子としての誇り」とふるさと意識の高揚「敦賀っ子の実態を基本とした確かな学力の向上」の二本柱でカリキュラムを作成したわかる授業、保護者への啓発

にリーフレットを配布するなど踏み込んだ実践をされています。また、体力向上については、「体力向上プラン」を作成し、「元気パワーアップ作戦」として各学校で推進計画を実践しているなど、大変参考になりました。



敦賀市では児童生徒の学力・体力向上の取り組みを調査

豊田市では、トータル人事システムについて調査しました。

「トータル人事システム」とは、職員の個々の能力を最大限に引き出すための組織マネジメント体質の強化や職員の自己表現を支援し、チャレンジ精神の高揚を図る方針で、自治体におけるプロ人材の確保・育成を目指すものであり、大変参考になりました。

## 民生常任委員会

5月13日～5月16日

市民病院の運営について

(三重県松阪市)

5歳児すこやか相談事業

について

(神奈川県鎌倉市)

がん検診等について

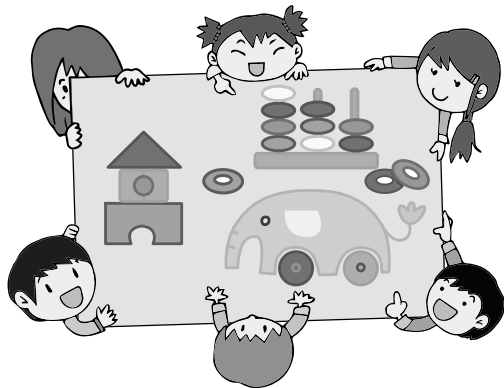
(群馬県高崎市)

松阪市は、周辺地域を含めた人口規模や民間総合病院の配置状況等、本市と類似している地域です。松阪市民病院は、長年赤字経営が続いていましたが、平成20年度のDPI C(※1)導入を契機に職員の意味改革を進める一方、財源を確保した上でプラス査定のための人事評価制度を導入、また病院収入・支出の課題や問題点の特定、改善策の提案から解決までを担当する総合企画室の設置等により黒字経営となり、減少していた医師や看護師数も回復傾向となりました。自治体病院の経営改善策として大変参考になりました。



松阪市では市民病院の運営について調査

鎌倉市の5歳児すこやか相談事業は、子どもの発達状況を客観的に把握する機会が少ない年中年齢児童(※2)を対象に平成20年度から実施されており、平成25年度からは市内の全年齢児童1千300人を対象に実施されています。事業内容は、保護者に配布した調査票により、日常生活等の行動、発達、育児に関する相談の有無を把握し、必要に応じて支援を行うもので、特別な支援が必要な子どもの早期発見・早期支援につながるばかりでなく、保護者が子どもの成長を振り返る良い機会となっております。



高崎市のがん対策は、高崎市医師会の独自事業として行っていた胃がんリスク検診を平成23年度から市の事業とし、また、若い年齢からピロリ菌を除菌することで胃がんになるリスクを下げられることから、20歳のピロリ菌検診も導入し、今年度からは対象年齢を拡大しています。本市もピロリ菌の除去に関する普及啓発を始めたため、大変参考になりました。

### 経済建設常任委員会

5月20日～5月23日

高松丸亀町商店街市街地再開発について

(香川県高松市)

歩車共存道路(コミュニティ道路)の整備について

(静岡県静岡市)

市場の活性化(川崎市中央卸売市場 北部市場)について

(神奈川県川崎市)

高松市では、高松丸亀町商店街について調査しました。高松城跡南に伸びる全長70mの商店街ですが、車社会の進

展や市民ニーズの多様化により歩行者の減少が著しい中、駐車場やコミュニティ施設を整備するなど、早い時期から危機感を持つて議論されてきました。再開発事業では商店街をA～Gの7街区に分け、A街区はドーム広場、高級ブティック街、G街区は広場、ホテル、大型マンションなど、各コンセプトに基づき整備されており、商都高松を代表する中心商店街の活性化に努めています。



静岡市では、歩車共存道路について調査しました。歩行者・自転車者が安心して通行できる面的整備計画として、国の施策に基づき歩行者・自転車の交通事故が多い住宅地区及び商業地区約100haを「あんしん歩行エリア」に指定し、地

元住民目線のきめ細やかな意見や要望を取り入れるワークショップやアンケートを実施しています。住民意見として「ヒヤリ」や「ハッ」とした危険箇所のマップを作成し、その危険箇所ごとに対策としてハード整備(道路の路面表示等)などを実施しています。川崎市では、昨年より本市市場関係部署等が川崎市場との市場間取引の可能性について意見交換していることもあり、川崎市中央卸売市場北部市場を調査しました。



川崎市では市場の活性化について調査

川崎市場は市場機能の高度化として冷蔵庫を整備、市場のエコ化推進に向け削減型生

ごみ処理機(※3)を整備、また毎週土曜日に開催され大勢の買い物客でにぎわう関連朝市の取り組みなど、市場の活性化策として大変参考になりました。



### 【用語解説】

※1 DPCC(診断群分類包括評価)：日本における医療費の定額支払い制度に使用される評価方法で、患者が何の病気であったか(診断郡分類)によって入院一日当たりの診療報酬が決まる

※2 年中年齢児童：鎌倉市で、すこやか相談事業を行う当該年度に5歳に到達する児童

※3 削減型生ごみ処理機：微生物(バクテリア)が着床したそば殻と一緒に生ごみをかき混ぜ、発酵し、水とガスに分解するため残留物が残らず、悪臭や騒音がほとんどない。二酸化炭素の排出量も焼却処理と比較して約9割削減できるという

## 質疑・一般質問

市民ネットむらoran 小田中 稔 おだなか みのる

### 職員数の見直しについて

【問】職員数の減少は、目標数を大幅に上回るスピードで進んでいる。資格職を含めた今後の職員数の見直しは。

【答】今までのやり方による職員数の削減ではなく、当面は現状維持を図る。新計画は9月議会に報告する。資格職は現状の職員数を基本に、年齢構成のバランスを考慮し計画的に採用していく。

### がん対策推進条例について

【問】がん対策推進条例制定の目的とスケジュールは。

【答】がんに関する正しい知識の普及啓発、各種がん検診の推奨、がん教育の推進を通じたがん予防の推進、医療機関との連携によるがんに関する相談体制の充実など、がん対策を総合的に推進すること

議員11人の質疑・一般質問及び答弁から21項目を取り上げ、要旨を紹介します。

を目的とする。来年4月の条例施行を目標とする。

新緑会 早坂 博 はやさか ひろし

### 市立病院の運営について

【問】平成25年度の経営状況は。また信頼される医療を提供するには何が必要か。

【答】入院収益は対前年比で延患者数が約5千人減少し、約1億4千400万円減収。外来収入は、延患者数は増加したが平均診療単価減少により約3千100万円の減収となった。信頼される医療の提供にはスタッフの充実が不可欠。人材確保と継続的な教育に努める。

### 防災対策について

【問】災害時に備え、今後どのような体制整備を進めていくのか。

【答】災害用備蓄品の複数年に分けた整備や市内流通業者

等との協定による備蓄体制の構築に向けた連携強化を図るとともに、輸送ルートへの分断等を考慮し市内を4地区に分け、備蓄庫を整備していく。

日本共済済市常磐井 茂樹 ときわい しげき

### 介護保険制度について

【問】予防給付の見直しで、要支援者が利用する訪問介護、通所サービスに与える影響についての見解を伺う。

【答】第6期計画策定において現状の水準を維持することを検討している。

【問】特養の入所基準を原則要介護3以上に限定することは、軽度者を追い出すことになり、500人を超える待機者の解消にもつながらないのでは。

【答】第5期計画においても、小規模特養の新設など選択の幅を広げる取り組みを行っている。今後在宅サービスを基本としながら、施設等の整備についても検討する。

【問】利用者負担を2割にするとしているが、影響を受ける世帯数と人数は。

【答】5月末時点で該当者4千448人、4千315世帯と試算している。

元風ネット 南川 達彦 みなみかわ たつひこ

### 環境都市づくりについて

【問】本市の水素エネルギー活用に取り組む姿勢を市民に理解してもらう考えは。

【答】市民ワークショップの議論に加え、子どもが参加できるシンポジウムを開催し、市民理解を深めていく。

【問】(仮称)環境科学館への市外の子ども達や修学旅行生の誘致の考えは。

【答】現地建てかえにより図書館など多様な学習を提供でき、市外または修学旅行生由来館が期待できると考える。



(仮称)環境科学館への建てかえに期待

### 行政組織の改革について

【問】複数の部課にまたがる行政課題に対し、柔軟かつ迅速に対応できる組織をつくる必要があると考えるが見解は。

【答】部課をまたぐ課題について認識しているが、現在の政策推進本部会議が一定程度機能していると考えている。

市政創造 山中 正尚 やまなか まさなお

### 公共施設老朽化対策について

【問】以前から提案している公共施設老朽化対策の財政負担や市民一人当たり公共施設延床面積が全国平均を上回る中、総務省が今年示した補助事業の公共施設維持管理計画の策定に着手すべきでは。

【答】公共施設の長寿命化計画などを作成してきたが、本年度から全ての公共施設状況を把握し、更新、統廃合、解体等国の2分の1交付税を視野に総合管理計画を策定する。

### ふるさと納税の特典について

【問】地方の歳入が減少し、地方のPRと活性化に向けた独

自施策が容認された中、国は、来年度からふるさと名物の支援を開始するが、本市も特典拡大を図るべきでは。

【答】本市の特産品を広くPRし、収入増と活性化に向けより良い活用を図る。

市民やむらた **高橋 直美**

### 障がい者の就労支援について

【問】知的・精神障がい者の雇用支援として、市内の軽業務を受けるワークステーション導入の考えは。

【答】市内で一般就労に向けた職業訓練を行う制度もある。雇用支援については調査研究すべき課題と考える。

### 生活困窮者支援法について

【問】任意事業は、複雑化した生活困窮者の課題に対応するため、全て実施すべき。見解は。

【答】一つでも多く実施するところが望ましいと考えるが、人材確保など課題の整理が必要であり、今後各関係機関、部署と協議していく。

【問】子供の学習支援は、貧困の連鎖を断ち切るため実施す

べき事業と考えるが見解は。

市民やむらた **田村 農夫成**

### 八丁平土壌汚染について

【問】6月開催の住民説明会は、直前の広報と案内ビラの未配付のため30数人の参加にとどまった。市の広報紙も活用し早急に説明会をやり直す考えは。

【答】8月に開催する予定。

【問】南公園と市有地、企業所有地は50cmの盛り土で安全と言いが、基準値をはるかに上回る値を示しており、公園として再開するなら土を取りかえるべき。隣接した企業所有地には膨大な廃棄物が埋められており、盛り土だけでは雨水に溶けて海へ流出するおそれがあるが、見解は。

【答】いずれも土壌汚染対策法に基づき適切な処理をする。

【問】鉱毒の原因は室蘭の歴史にある。国とも相談し安心して住むことができる対策を。

【答】環境省や道とも相談して問題の解決に当たっていく。

市民やむらた **児玉 智明**

### 室蘭市民美術館について

【問】新たな作品収集を進めるためにも収蔵庫整備は必要と考えるが、見解を伺う。

【答】文化センター管理棟耐震改修に合わせて整備する。



収蔵庫整備が必要な室蘭市民美術館

### ネットパトロールについて

【問】学校で実施しているネットパトロールの問題点は。

【答】教職員用パソコンはセンターのフィルターによりブロックされているため、アクセスできないサイトがある。今後は地域へのネットパトロール

依頼も含め検討したい。

【答】環境省や道とも相談して問題の解決に当たっていく。

市民やむらた **児玉 智明**

### 水素エネルギー活用について

【問】本市における現状は。

【答】民間企業とともに事業化へ向けた議論を進めている。今後行政主導で水素需要の創出拡大を進め、10年以内に室蘭で水素利用社会が実現できるよう強い覚悟で取り組む。

市政創造 **岡田 健一**

### 室蘭市都市計画マスタープランについて

【問】公共施設跡地利用計画を踏まえたまちづくりのビジョンを示す考えは。

【答】今後においても、将来都市像やまちづくりの方向性を踏まえ、人口減や高齢化など課題の対応とも整合を図りながら取り組みを進めたい。

### 結婚・出産等へのお祝いについて

【問】結婚や出産届提出時に気持ちを含めた感謝状や認定証等、形に残りメッセージ性のある取り組みへの考えは。

【答】地域への愛着を深めてもらうきっかけや市民と一緒に

まちづくりを進める観点からも大切である。次年度に向けた子育て応援プランを検討するに当たり、このような取り組みも念頭に置きながら作業を進めていく。

公明党室蘭市議会 **細川 昭広**

### 高齢者割引ふれあいパス事業について

【問】年金受給者の生活に合わせた2カ月用パスなど、高齢者が利用しやすいような対応についての考えを伺う。

【答】1カ月用と3カ月用のパスの利用状況や事務コスト等を検証した上で、2カ月を単位としたパスなど高齢者の方々が利用しやすい期間設定について、バス事業者とも協議し検討を行う。

### 室蘭市文化センター駐車場について

【問】今後の文化センター駐車場の確保について伺う。

【答】文化センター周辺に恒久的な駐車場を確保することは困難だが、本定例会で審議している(仮称)環境科学館

とともに文化学習ゾーンにあ  
りその中であり方を検討する。

公明党室蘭市議会  
柏木 隆寿  
かしわぎ たかひさ

### 胃がん対策について

【問】患者の身体的、経済的負担が少なく簡便に検査できる胃がんリスク検診（ABC検診）を他のがん検診のように無料クーポン配付や検診費用の一部助成などの施策で行う考えは。

【答】ここ数年、医師会とピロリ菌についての勉強会を実施しており、モデル的な実施に向けて協議を進めています。

### （仮称）環境科学館と図書館 （本館）の台築について

【問】環境科学館と図書館の台築については発注期や財源の見通し、将来のまちづくりなど総合的に検討し、市民説明の後に取り組むべきでは。

【答】公共施設跡地利用計画の見直しも含め、中期的な財政シミュレーションを行い、後年度負担のあり方等についても市民に説明し検討を進める。

## 平成26年第2回定例会議決結果 会期：平成26年6月9日（月）～6月24日（火）（16日間）

番号	件名	議決結果
議案第1号	平成26年度室蘭市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第2号	室蘭市税条例中一部改正の件	〃
議案第3号	室蘭市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例中一部改正の件	〃
議案第4号	室蘭市火災予防条例中一部改正の件	〃
議案第5号	室蘭市環境産業都市整備基金条例制定の件	〃
議案第6号	財産取得の件(公有地)	〃
議案第7号	財産取得の件(水槽付化学消防ポンプ自動車)	〃
議案第8号	財産処分(旧室蘭市し尿処理場跡地)	〃
議案第9号	工事請負契約締結の件(消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター整備工事)	〃
議案第10号	工事請負契約締結の件(平成26年度東町大和団地公営住宅建替建築主体その1工事)	〃
議案第11号	工事請負契約締結の件(平成26年度東町大和団地公営住宅建替建築主体その2工事)	〃
議案第12号	工事請負契約締結の件(平成26年度東町大和団地公営住宅建替建築主体その3工事)	〃
議案第13号	平成26年度室蘭市一般会計補正予算(第2号)	〃
報告第1号	専決処分について承認を求める件(室蘭市税条例及び室蘭市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
意見書案第1号	労働者保護ルール後退の法改正に反対を求める意見書	原案可決
意見書案第2号	地方財政計画の充実・強化を求める意見書	〃
意見書案第3号	平成26年度北海道地域最低賃金改定等に関する意見書	〃
意見書案第4号	2015年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書	〃
意見書案第5号	道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子供の実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書	〃
意見書案第6号	総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書	〃
意見書案第7号	「消費税10%」実施の中止を求める意見書	否決
意見書案第8号	教育委員会制度改悪に反対する意見書	〃
意見書案第9号	ウイルス性肝炎患者に対する支援の拡充を求める意見書	原案可決

## 平成26年第3回室蘭市議会定例会 会期（予定）

9月8日（月）～9月30日（火）

※会期の決定及び日程の詳細につきましては、9月4日（木）開催予定の議会運営委員会終了後、市議会ホームページ〔議会日程〕に掲載いたします。



## らいとあっぷ

### 委員会中継を実施します

これまで、本会議のみインターネットによる中継（ライブ、録画）をしていましたが、第2回定例会前に、カメラや中継設備の取り付け工事を行い、第2回定例会の各常任委員会と特別委員会は庁内のみで中継の試験運用を実施したところです。本格運用は、第3回定例会からとなります。

これに伴い、これまで3常任委員会の審議は2日間で行われていましたが、一日に1常任委員会の開催とし、定例会の日程を一日延長しました。

多くの市民に各常任委員会、予算・決算委員会の様子をご覧いただくことで、市民にとって身近な問題を審議する委員会の白熱した議論をお届けすることができるようになります。

今後、より真剣な議論と「市民に開かれた議会」としての機能を発揮することが求められています。

### 市議会ホームページをぜひご覧ください！

室蘭市ホームページ ⇒ 「市議会ホームページ」  
「議会中継」

※市議会中継は市議会開会中のみライブで、その他の期間は録画放送でごらんいただけます。



## 編集後記

6月9日から行われた第2回定例会は、質疑・一般質問、各常任委員会、予算審査特別委員会での補正予算の審議と全ての日程を24日に終了しました。

質疑・一般質問では、11名の議員が登壇しました。財政運営、環境都市づくり、少子化対策や、介護保険制度、教育行政などについて活発な論議が交わされました。特に、環境産業の推進については、水素エネルギーの活用やグリーンエネルギータウン構想について3名の議員がそれぞれの持論を展開、今後の政策展開に弾みをつけるものとなりました。（常磐井）